



STOP! 転倒災害



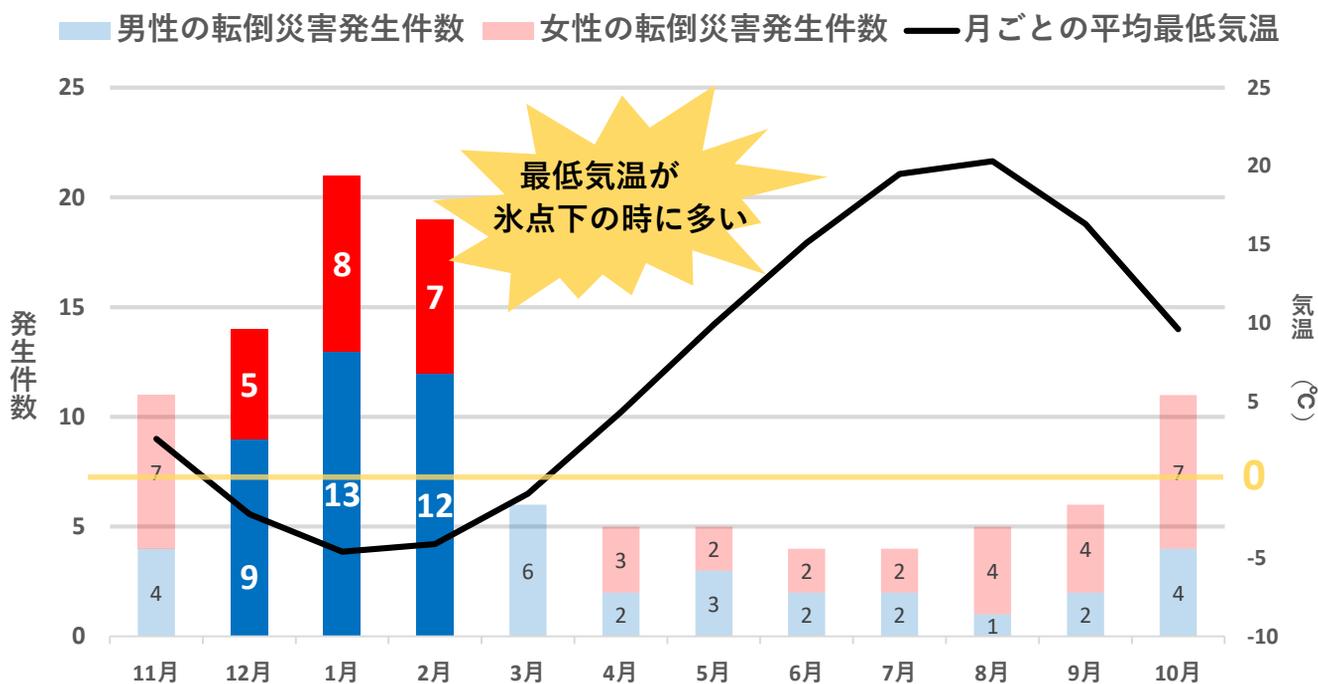
今期の冬は転倒災害を0に!

12月から2月は冬季転倒災害防止重点取組期間です

利根沼田地区では、12月から2月に転倒災害が多く発生しています。降雨、降雪後の路面凍結に注意して、靴底の雪や氷はよく落としてから部屋に入りましょう。

通路などで凍結している箇所については対策を取りましょう!

沼田労働基準監督署管内の転倒災害月別発生状況 (R3~R5年の合計)



資料：労働者死傷病報告 気象庁ホームページ 参照

～転倒災害防止の5か条～



ポケットから手を出して歩こう!



雪道や凍った道は小股で歩こう!



路面や床面にあった靴を履こう!



時間に余裕を持って行動しよう!



日頃から足腰を鍛えよう!

転倒災害防止のための取り組みを！！

～具体的な対策～

- ① 降雪・路面凍結前に職場の点検、改善を行いましょう。
- ② 屋外通路や駐車場における除雪、融雪剤の散布により安全な通路を確保しましょう。
- ③ 事務所出入口へのヒートマットや、凍結のおそれのある通路・作業場への温風機の設置等により通路の凍結を防ぎましょう。
- ④ 転倒危険場所を「見える化」し、危険マップの作成・掲示と従業員への教育を通じて、注意喚起を図りましょう。
- ⑤ 事務所への入室時における靴裏の雪・水分の除去を徹底しましょう。
- ⑥ 「ながら歩き」や走っての移動等の不安全行動を禁止し、作業場所に応じて、耐滑性のある靴を着用しましょう。



凍結防止の事例



事務所の出入口などの凍結している場所で転倒災害が多く発生しています

ヒートマットを設置して凍結防止！！



参考

あんぜんプロジェクトの「見える」安全活動コンクールの応募作品・優良事例には、転倒災害防止対策に参考となる事例がたくさん掲載されています。ぜひ、活用しましょう！

転倒災害防止のために適切な靴を選ぼう！

柔らかいゴムを使用した靴底は、路面に対する密着力が強いため滑りにくくなっています。



作業靴の選び方に困ったら・・・
こちらにアクセス→



転倒予防のために適切な「靴」を選びましょう



SAFEコンソーシアム
「見える」安全活動コンクール

